

令和4年度

事業報告書



社会福祉法人土佐厚生会

— 目 次 —

土佐厚生会.....	2
障害者支援施設こくふ.....	8
相談支援センターアルペジオ.....	12
就労継続支援B型事業所ウィール社.....	13
就労継続支援B型ワークセンターファースト.....	17
障害者福祉ホームコーポラスこくふ.....	21
障害者支援施設ステージ桜が丘.....	23
特別養護老人ホーム八流荘.....	27
ホームヘルプステーションやながれ.....	30
在宅介護支援センターやながれ.....	31
小規模多機能型居宅介護事業所南風.....	32
障害者支援施設とさ.....	33
就労継続支援B型事業所カトレア.....	37

社会福祉法人土佐厚生会

1 事業の総括

令和4年11月16日、本会の創設者藤田生稔会長が享年95歳で天寿を全うした。90歳に至るまでは正に現役で、法人本部で執務を取りながら後進の育成に力を注ぎ、最後までバイタリティ溢れる会長であった。故人の半生を振り返ると、昭和26年高知県庁に奉職し、公僕としての役割をはたすべく社会福祉行政に携わった。高知県厚生労働部、児童家庭課、福祉事務所、同和対策課、最後には老人障害福祉課の(施設担当)として児童から高齢者、障害者施設に至るまで、各々の福祉施設の側面支援に関係する様々な業務を担当した。その経験を通じて「これからの社会福祉は少子高齢化、国際化、技能革新による大きな変革が求められてくる」と。とりわけ、高齢者や障害者など弱者に対する福祉施策の重要性について日々痛感をしていた。当時における高知県の高齢者施設、障害者施設は公立公営型が主流で、民立民営型の施設は極めて少数であった。一方で、県外における社会福祉施設は民立民営型がほとんどで、施設に掲げる経営理念や入居されている方々に対するサービス内容については県内と比較にならないくらい進んでいることに大変驚愕したと語っている。老人障害福祉課の施設担当として、それまでに培った知識と経験を活かしながら、社会福祉法人を立ち上げ、地域福祉の充実に尽くしたいと念願し、永年勤めた高知県庁を退職した。そして「福祉は人なり・心なり」。その信念のもと、各関係者のご協力ご支援をいただきながら、自身の私財を投じるとともに、諸先輩優志の賛同と浄財を賜り、昭和55年7月社会福祉法人土佐厚生会の設立に至った。第一歩として、安芸市赤野地区に昭和56年4月「特別養護老人ホーム八流荘」を開設し、兼ねてからの念願であった民立民営型の社会福祉施設として地域貢献の第一歩をスタートさせた。更に翌年には県東部で障害者施設の必要性が課題となった。重度障害者の方々が利用できる社会福祉施設が全く無く、当時の岡村喜郎安芸市長から「安芸市内の重度障害者の方々が在宅での厳しい生活環境で不自由な生活を強いられている。この環境を打破すべく障害をお持ちの方々に安心して生活できる場所を整えたい」。熱い要望が当法人に打診され、昭和58年4月、旧身体障害者療護施設安芸療護園を開設させた。

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」この三つの理念を基本とし、現在では高知県内の3市1町にわたり、それぞれの地域で必要とされる福祉サービスに応えるべく、積極的な公益活動に取り組み今日に至っている。藤田生稔会長亡きこれからの土佐厚生会は、今日まで築き上げてきた礎、組織文化を守るべく、地域の皆様のご協力を賜りながら、関係者一同本会のビジョン達成に向けて一丸となり、引き続き切磋琢磨してゆかなければならない。

2 事業報告

(1) 役員、評議員等の活動

ア 役員等の活動は以下のとおり。

活動名	開催日・場所	主たる審議内容
理事会	令和4年6月11日 (ぢばさんセンター)	令和3年度事業報告・決算、補正予算、施設改築工事、評議員会開催、業務執行理事の選任
	令和4年9月17日 (ちより街テラス)	事業進捗状況、補正予算、その他財産の売却、事業の廃止、定款変更、諸規定変更、評議員会開催
	令和4年12月10日 (ちより街テラス)	事業進捗状況、補正予算、諸規定変更、評議員会開催

理事会	令和5年2月28日 (藤の間・オンライン併用)	施設管理者の任免
	令和5年3月12日 (ちより街テラス)	令和5年度事業計画・予算、補正予算、建物改修工事、諸規定変更、評議員選任解任委員選任、評議員会開催
評議員会	令和4年6月25日 (ちより街テラス)	令和3年度事業報告・決算、令和4年度補正予算、施設改築工事
	令和4年10月1日 (ちより街テラス)	事業進捗状況、補正予算、その他財産の売却、事業の廃止、定款変更
	令和4年12月24日 (ちより街テラス)	事業進捗状況、補正予算
	令和5年3月25日 (ちより街テラス)	令和5年度事業計画、予算、補正予算、建物改修工事、理事の選任
監事	令和4年5月21日 ～5月24日	書面監査
	令和4年5月25日 (法人本部)	法人事業、会計経理について監査

イ 各種会の活動は以下のとおり。

名称	開催日・場所	主たる審議内容
褒章・懲戒委員会	令和5年3月12日 (ちより街テラス)	各種団体の令和5年度表彰者の推薦選考、本会永年勤続表彰者の選考
業務執行理事会	毎月1回 (法人本部)	法人内連絡調整、重要案件の調査・審議

(2) 施設機能の強化に取り組む

ア 指導管理の推進

- (ア) 令和4年3月、会是に沿った利用者サービスが提供できているか、各事業所における意識・行動調査を目的とした、不適切支援アンケートを実施した。その結果、155項目に対して改善策を要することが判明し、外部理事(学識経験者)より会是の再確認～理念の浸透(バクトル合わせ)及び業務の標準化を進めるべく共通の指針として明確化を図るよう指示を受けた。学びの継続を具体化すべく役職員の勉強会を継続中。各施設の状況を把握すべく指導・監督するための資料として事業計画進捗状況、人事考課結果、サービス評価等、散発的なクラスター発生の有無にかかわらず、例年どおり提出された。職員満足度及び帰属意識調査は、ストレスチェックを代用し、その結果報告書により施設・事業所ごとの職員のストレス度や傾向を把握した。虐待事例、事故事例、時間外及び有給休暇取得等、理事会・評議員会に報告する各種データ、報告書等の提出を行った。特に虐待事例、事故事例であがってきた事故について、リスクマネジメント担当業務執行理事が中心となり、業務執行理事会で検討、その内容を施設長等に連絡、再発防止に努めるべく努力した。
- (イ) 業務執行理事の育成強化のため令和4年6月に、業務執行理事を中心とする役員、施設長、所長等管理職を対象に研修会を開催した。施設長の使命と役割、人材育成、施設経営等の講義を受けた。法人内でこのような研修会は数年開催しておらず、初めて講義を受ける役職員も多数いた。施設の現状分析等の説明を受け参加者からは好評であった。また施設と法人の一体化を図るため、ゾーン連絡会の記録等で業務執行理事会の協議事項の伝達やゾーンでの協議内容を確認した。しかし、定期的に議事録が提出されないゾ

ーンがあり、今後は提出漏れのないよう指導を徹底することとする。ステージ桜が丘の利用者家族からの苦情の件については、施設で課題解決に向けた対策に1年間取り組み、指摘のあった点について改善報告があった。法人で協議する予定であった職種ごとの業務内容と職員の適正配置人数については、施設、事業所から素案の提出はあったが、法人本部で取りまとめができておらず、次年度持ち越しとした。

- (ウ) 施設長の育成強化を目的とした施設長勉強会はコロナの影響で毎月開催できなかった。部署活動、日中活動、事業計画及び部署計画の進捗状況については、報告と今後の進め方について検討した。また、8月以降は不適切支援アンケート結果について、自施設、事業所の分析と対策を講じた。毎月アンケートを実施し、その都度職員の指導を行い、チェック項目をなくすため接遇についての講義も開催した。

(3) 利用者サービスの向上に取り組む

ア 職員の育成強化

- (ア) 法人の職員研修体制の構築はできており本年度も土佐厚生会の事業計画に沿って進めた。研修委員会については、法人研修の企画運営ではなく、研修での学びを各職場で活かすために自施設の職員にどのように伝達するかなど、課題の抽出及び人材育成の視点での活動を検討することとした。しかし、具体的に取り組むことができず、次年度に持ち越しとした。
- (イ) リーダー層の育成については、年2回開催する人事考課者研修で、人事考課の目的、人事考課を使った育成、役職者の役割等を学び各々部下の育成・指導に取り組んだ。また、階層別研修でもそれぞれの役割と責任、接遇について研修を実施した。従来の研修とは別の視点での研修を考えたが、具体的な内容の検討ができず次年度に持ち越しとなった。研修実績は以下のとおり。

a 新規採用職員研修

研修名	主催	内容
法人基礎研修	土佐厚生会	受講者:新卒職員3名 土佐厚生会の歴史や概要、経営理念、福祉・介護の制度、ノーリフティングケア、職員の心得、就業規則、人事制度について講義を行い、福祉・介護人材としての自覚と心構えについて学んだ。
高知県福祉介護職員合同入職式及び研修会	高知県	受講者:新卒職員3名 社会人の心構え、ビジネスマナーについて学び、目的・目標を持つこと、職場のコミュニケーションの重要性を理解した。
高知県福祉・介護新任職員フォローアップ研修	高知県	受講者:新卒職員3名 コミュニケーションの基本として、コミュニケーション手法の他、他者との関わりや相互理解の重要性を学んだ。

b 階層別研修

(a) 組織性 [主催：高知県福祉人材センター]

研修名	受講者・研修内容
新任職員研修 ステップ 1	受講者:新卒職員 3 名 障害や病気の特性、知的障害者に対する支援、福祉の仕事のやりがい、福祉の仕事に携わる基本姿勢や心構えについて学んだ。
新任職員研修 ステップ 2	受講者:新卒職員 3 名 チームで働く、組織の一員として働くためのコミュニケーションと仲間づくりについて学び、成長していくために実践の振り返りと目標設定を行った。
新任職員研修 ステップ 3	受講者:新卒職員 3 名 福祉の現場で働く先輩の話聞き、個人ワークで 1 年目の仕事の振り返りと、2 年目を迎えるにあたり取り組みたいことを考え、今後の目標を立てた。
先輩職員研修	受講者:勤続 2 年以上 3 年未満の職員 2 名 後輩への関わり方の基本姿勢、相手との会話でのコミュニケーション方法、会話をする際の受け答えのポイントをデモンストレーションやグループワークを通じて学んだ。
中堅職員 ファーストステップ研修	受講者:勤続 3 年以上 13 年以下の職員 6 名 組織で働くとはどういうことか、中堅職員は何を意識して業務を遂行していくか、チームで働くためには仕事の目的を合わせることが必要なことを学んだ。受講者は皆が気持ちよく働ける環境作りをすること、仕事の効率化を図ること、周囲への気配りなどを目標に掲げた。
中堅職員 ステップアップ研修	受講者:勤続 5 年以上の職員 4 名 求められる役割と後輩の指導、育成の基本・手法について学び、個人ワークやグループワークを通じて、自らの後輩指導・育成の振り返りをした。そして、業務の目的を共有すること、相手の性格や特性を知り対応することの重要性を学んだ。
チームリーダー研修	受講者:将来チームリーダーの役割等を担うことが期待される職員 2 名 チームリーダーに求められる役割を遂行するためには、対人関係の基本スキルが重要であること、職員の成長が利用者サービスの向上に繋がること、それには、メンバーの職業人としての職務満足度や働きがいの向上に貢献する姿勢を示すことが必要であることを学んだ。個人ワーク・グループワークを通じて、自己を振り返り良きリーダーになるための課題を把握するとともに、自身のキャリアの方向性を考えた。

c リーダー層の研修 対象職員：4 等級以上の職員

研修概要	主な対象職員	研修内容
人事考課者研修	4 等級以上 役職員	受講者:4 等級以上・役職者 実施月:10 月・3 月
		人事考課の目的、育成面接、役職者の役割について講義と演習

主任・師長研修	主任・師長	受講者:主任・師長 実施月:5月(8月はコロナ感染状況により中止)
		組織と接遇

d 専門職会

名称	対象・実施月・内容
サビ管研修	受講者:サービス管理責任者 実施月:毎月(ただし、7月、11月～1月は感染状況等により中止)
	施設でのサビ管の位置づけと役割、組織の仕組み、個別支援計画、不適切支援
事故防止委員の研修	受講者:各施設事故防止委員会メンバーのうち、代表者 実施月:6月
	各施設の事故防止委員会の現状把握、事故防止委員会の目的、リスクマネジメント
虐待防止委員の研修	受講者:各施設虐待防止委員会メンバーのうち、代表者 実施月:7月
	各施設の虐待防止委員会の現状把握

e 職場内研修

研修名	内容
ノーリフト研修	職員の腰痛予防、ケアの質の向上を目的に、ノーリフト推進委員が中核となり各ゾーンで研修や育成を行う。
虐待防止研修	各ゾーンの虐待防止委員会が、虐待防止テーマに沿って研修を企画。虐待防止委員会メンバーを中心に所属ゾーンで実施する。

イ 良質のサービスの推進

リスクマネジメントの推進及び虐待防止の徹底については、それぞれ6月と7月に事故防止委員会、虐待防止委員会の委員を招集し、それぞれの活動内容の現状把握を行った。それを基に委員会活動を分析し、今後、委員会活動を強化していくこととした。事故防止委員会では事故報告書に基づき業務執行理事会に報告、そこで施設の事故分析と再発防止対策を検討し、その検討結果を施設に伝え、事故防止委員会で再発防止に努めることとした。この取り組みは次年度以降も継続して取り組んでいく。

虐待防止委員会については、令和4年3月から継続して行っている不適切支援アンケートの155項目について、施設・事業所で施設長等の指導の下、不適切支援を減少させる取り組みを実施している。施設・事業所ともに徐々に減少しており、次年度も継続して取り組むこととする。接遇マニュアルの徹底は、不適切支援アンケートの対策を優先したため、次年度以降に持ち越しとした。

(4) 職員の確保に取り組む

ア 人材マネジメントシステムの構築

職員採用計画については、就職フェアに参加、求人活動に取り組んだが、職員確保には至らなかった。学校への福祉教育の啓発として、安芸市社会福祉協議会に、地域の小中学校・高等学校への福祉教育の参画と地域住民への集いの場への職員派遣を相談し、次年度は何らかの形で関わることとなった。また、本年度から待遇面の見直しとして、年間休日数を6日増の114日とした。実施後の時間外・休日労働時間数、有給取得状況及び他法人の状況等を踏まえ、次年度の年間休日数をさらに6日増やし120日とした。

イ 職員満足度の向上・帰属意識の醸成

職員満足度・帰属意識調査の書式を検討したが、施設・事業所規模、職員数や勤務形態等で満足度・帰属意識が変わるため、別の調査方法を検討することとして次年度持ち越しとした。

ウ キャリアパスの徹底

職員として又は等級ごとに求められるスキルについては、人事考課の育成面接で説明できているが、昇任、昇格、賃金基準及び必要となるスキルについて職員にわかりやすい資料を作成する予定であったが、検討のみで取り組めていない。

(5) 経営基盤の強化を図る

ア 赤字事業所の経営改善

- (ア) 就労事業収支差額の改善について、毎月の収支の推移を前年と比較し分析した。燃料費の高騰による原材料費の値上げを考慮し、通常より多めに仕入れるなどの対策を実施した。また、カトレアは、主力商品であった生姜チップが仕入れ先から買上げ中止の通知があり、売り上げが大幅に減少した。その結果、ウィール社 256 千円の増収、ファースト 161 千円の増収、カトレア▲298 円の減収で、目標の就労事業収入の 5%の収支差額の確保はできなかった。
- (イ) 障害者支援施設の利用者確保については、障害者支援施設こくふは稼働率が上がり令和 4 年度は黒字となった。しかし、障害者支援施設ステージ桜が丘は、平均稼働率 89.4%ではあるが、設備資金借入金元金償還支出及び支払利息の資金分が赤字となっており、令和 5 年度は稼働率 96%を確保する必要がある。
- (ウ) 必要経費の見直しについて過去 5 年間の経費の推移を調査したが、水道光熱費を除きほぼ変化はなく、消耗品等の価格など業者の洗い出しをした。経費削減に効果が見込まれる物品は紙オムツなど利用者支援に直接関係するため、今後現場と検討しながら方向性を決めていくこととした。

イ 施設整備事業の実施

- (ア) 八流荘建設用地について、旧障害者支援施設「あき」に隣接する用地の取得が可能となり、令和 5 年 4 月に土地収用法の適用、農地転用等の申請を予定。
- (イ) 障害者支援施設ステージ桜が丘 1 階会議室東側通路の天井コンクリート躯体のたわみが発生、サッシュ開閉の不具合について、日比野設計事務所による原因調査が実施された。その結果、更に公正中立かつ客観的な検証等を第三者委員会に委ね調査を継続することとした。

障害者支援施設こくふ 事業報告

1 事業の総括

会是である愛情・奉仕・連帯を念頭において、サービス向上に努めましたが、満足度の高いサービスの提供には至りませんでした。それでも、介護職員が少ない中、多くの新規利用者様に入所いただき、経営状況は改善傾向となりました。

2 事業報告

事業計画(1) 経営の安定 目標：事業活動収支差額黒字

- ア 稼働率の向上（年間稼働率 90%以上）
- イ 支出削減（事業活動支出前年度比 10%減）

経営安定の目標、事業活動収支差額は 27,439,007 円と黒字を達成しましたが、目標達成の手段である稼働率の向上は施設入所支援 83.6%、生活介護 83.8%、事業活動支出前年度比 1.7%増でした。2012 年に現在のサービス体系に移行後、2 番目に多い 10 名の利用者様が入所しましたが、退所者数も 2 番目に多い 9 名の退所により稼働率が伸びませんでした。事業活動支出の増加は稼働率増に伴う必要な支出が増えたためです。

事業計画(2) サービスの向上 目標：PDCA サイクルによるサービス提供

- ア 接遇教育の実施
- イ 部署活動の強化
- ウ 日中活動の充実
- エ 障害特性の勉強

PDCA サイクルによるサービス提供に努めましたが、エレベータ改修やコロナクラスターにより、サービスの向上には至りませんでした。特に不適切支援に対して虐待防止委員会が十分に機能しておらず、活動内容の改善を図りました。

事業計画(3) 職場環境作り 目標：ストレスチェックが全国平均より良い

- ア 現状把握のため全職員に面接
- イ 面接結果を集計・分析、結果を個別と全体のフィードバックに分別
- ウ 個別フィードバック
- エ 全体フィードバック
- オ ストレスチェックの実施
- カ ストレスチェック結果により来年度の職場環境対策を検討する

目標であるストレスチェックの結果は全国平均より高く、令和 3 年度よりも結果は悪くなりました。年間残業 2,736 時間のため業務時間外の面接を躊躇したこと、コロナクラスター等の予想外の対応もあり満足のいく面接は行えませんでした。また、ほとんど変わらない人員で令和 3 年度より施設入所支援 4.7%増、生活介護 5.3%増のため、一人当たりの業務量が増えた事も一因です。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

ア 稼働率 (単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
施設入所	86.5	79.7	81.6	85.1	84.0	85.5	82.8	84.8	81.7	83.0	84.7	84.3	83.6
生活介護	86.6	80.1	82.9	85.2	84.0	85.3	83.0	84.8	81.7	83.0	84.6	84.4	83.8
短期入所	0.0	4.0	25.0	4.8	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	8.0	5.6	4.2

(2) 年間行事等

ア 施設の行事

(イ) 日中活動

種目	目標	実施内容
室内 娯楽	<ul style="list-style-type: none"> ・認知能力や感受性の向上 ・協調性を養う ・心身のリラックス 	麻雀・映画鑑賞・レクリエーション・ゲーム
運動系	<ul style="list-style-type: none"> ・集団（社会）適応能力を高める ・競技技術を高める 	ボッチャ・水戸黄門体操
学習系	<ul style="list-style-type: none"> ・集団（社会）適応能力を高める ・手指の細かい動作能力を高める ・認知能力を高める ・感受性を向上させる 	レッツアート(習字、俳句)・視力トレーニング・料理教室・スタディ
音楽 療法系	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンシップやリラックス ・仲間作りや雰囲気づくり ・発声訓練や身体の体操 	カラオケ・リズム音楽
園芸 療法系	<ul style="list-style-type: none"> ・手・指の操作性 ・身体の動き ・観賞、食する喜び 	園芸・生花
外出	<ul style="list-style-type: none"> ・気分転換 ・社会参加 	ドライブ・散歩・魚釣り
美活	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔保持・心身のリラックス ・意思・意欲の向上・気分転換 	リラクゼーション・ハンドメイド・口腔ケア
美食	<ul style="list-style-type: none"> ・気分転換、意思や意欲の向上 	ミニ喫茶・中庭昼食・外部注文昼食

(イ) 年間行事

行事名	実施時期	備考
ミニ祭り	9月	納涼祭中止に伴う代替行事
秋の法要	9月	
コロナウイルス予防接種	10月	
インフルエンザ予防接種	12月	
クリスマス忘年会	12月	
節分の豆まき	2月	
春の法要	3月	
桜の下のコーヒータイム	3月	

(ウ) 生活利便のサービス

	内 容
預金引出	木曜日に行員が来所、希望利用様の通帳処理を行いました。
買物	水曜日に利用者様が希望された日用品を代行して購入しました。
パンの販売	毎週、業者来所または職員が代行してパンを販売しました。
移動スーパー	水曜日に移動スーパーが来所、利用者様が生活物品を購入されました。

イ 地域住民等との交流

南国市社会福祉法人による公益的な取り組み連絡会（しゃこう連）に加盟して地域貢献の検討を実施しましたが、コロナ禍のため大規模な企画は実施できませんでした。

また、施設を知ってもらうために例年は、こくふ福祉の村まつりや近隣の小中学校との交流、地区の防災訓練に参加しておりましたがコロナ禍により、すべて参加中止となりました。そのような状況のなか、北陵中学校生徒会様よりパンジー贈呈をいただきました。

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況 ※三密に該当する救急法と不審者対応の訓練は中止

	時 期	合計
避難誘導	6月、9月、1月、2月	4
消火	6月、1月、2月	3
通報	1月	1
地震	6月、9月、10月、1月、2月	5
夜間避難	6月、9月、1月、2月	4
水害対応	6月、9月	2
救急法	未実施	0
不審者対応	未実施	0

(4) 施設への苦情等件数

受 付 先	施設内の問題	その他の問題	計
こくふの苦情等の申出窓口	0	0	0
こくふ地区施設運営委員会	3	0	3

(5) スタッフの配置状況（令和5年4月1日現在）

職 種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)	職 種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)
施設長（管理者）	0.9	1	0	生活支援員（相談）	1.5	2	0
サービス管理責任者	2	2	0	理学療法士	2	2	0
医師（嘱託医）	0.1	0	3	管理栄養士	1	1	0
看護職員	5	5	0	事務員	1.85	2	0
生活支援員（介護）	34.4	32	4	用務員・夜間警備員	1.25	1	2
				合計	50	48	9

(6) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
施設長実学講座	7月・8月・10月・ 12月・1月	福祉施設士会	施設長
認知症のある方への食事支援研修	7月	高知県口のリハビリテーション 研究会	施設長・PT
サービス管理責任者等更新研修	8月	高知県	SV 生活支援主任
全国福祉施設士セミナー	9月	福祉施設士会	施設長
公正採用選考人権啓発推進員等研修会	9月	県職業安定所	施設長
中四国ブロックセミナー 福祉QC発表会	10月	福祉施設士会	施設長
近畿福祉施設士セミナー	10月	福祉施設士会	施設長
ノーリフティング e-ラーニング研修 福祉用具管理リーダー養成研修	12月	高知県	PT
相談支援従事者現任研修	11月・12月・ 1月	高知県	生活支援員
給食関係者研修会	12月	南国市	管理栄養士
中四国ブロック災害支援セミナー	2月	高知県経営協	施設長

※研修会場のコロナ流行によって Zoom にて研修受講

※法人本部企画の研修は、法人本部事業報告に記載

相談支援センターアルペジオ 事業報告

1 事業の総括

会是である愛情・奉仕・連帯の精神を念頭において、相談支援専門員としての専門性を発揮して、利用者様の意思及び人格を尊重し、利用者様の立場に立ったサービスのコーディネートを中心に心がけました。

また、高知県内の相談支援事業所の数が減少するなか、可能な範囲で利用者様の福祉サービス利用について、支援を行いました。

2 事業報告

事業計画(1) 資質向上 目標：利用者様 160 人の支援

- ア ソーシャルワークの実践
- イ 社会資源の活用と連携
- ウ 利用者様の状態把握

利用者様の状態を把握した上で、社会資源の活用と関係機関と連携を取りながらソーシャルワークを実践する事で利用者様 155 人に対し下記「その他事業報告」のとおり支援を実施しました。

目標値には 5 人足りなかった原因は、相談支援専門員の 1 名体制を予定より早くに実施した事によるものです。

事業計画(2) 継続判断 目標：相談支援事業所の継続

- ア 支出削減
- イ 事業継続

これ以上の新規利用者様の獲得はサービスの質の低下に繋がります。そのため、労働分配率が 100%を超える事は確実に恒常的な赤字解消は難しいです。しかし、社会福祉法人の社会的使命と当会の障害福祉サービスを利用されている方の大半のサービス計画を担当している事から事業の継続は必要です。事業の継続のため、予定より早く相談支援専門員 1 名体制を構築するなど可能な範囲で支出削減を行いました。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

ア 稼働率 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
計画更新	2	7	7	2	7	4	4	6	3	6	7	10	65
モニタリング	17	18	20	31	25	19	16	21	22	28	22	18	292
合計	19	25	27	33	32	23	20	27	25	34	29	28	357

就労継続支援B型事業所ウィール社 事業報告

1 事業の総括

土佐厚生会の会是に沿った支援を目標に、利用者支援を実践してきました。利用者様一人ひとりのニーズや想いをくみ取り、地域での自立生活を安心して送ることができるよう働ける場と日中の居場所の提供を行いました。作業面では、在宅でも作業できるテレワークや一般就労に向けた作業の実践面を強化し、事業所全体では物価高騰を意識し、価格の見直しや経費の削減に努めました。

2 事業報告

事業計画 (1) 日中の活動の充実を図り、利用者様のニーズや想いに寄り添った支援を実践します。利用者様それぞれがB型事業所に通所されている意義を理解し、利用者様それぞれに見合った就労支援、日常生活支援を実践します。

ア 作業部門の支援

- (ア) 個別支援計画を基に、会是に沿った支援の実践を行います。
- (イ) 工賃規定の見直しを行い、作業能力に見合った工賃の支給を行います。
- (ウ) 在宅ワークや一般就労への支援を積極的に行います。

イ クラブ活動の充実の充実を図ります。

ア サービス管理責任者を中心に、利用者様のニーズや想いをくみ取り、個別支援計画を基にした就労支援と日常生活支援を実践しました。また、工賃規定も年齢によって変動のある規程で、減額となっていました。年齢を重ねても現行を維持できるように変更し、R5年度より運用しています。在宅ワークは現在編集科の1名の方が週2回の実施をしています。

イ コロナの影響により中止となった大会もありましたが、釣りクラブと園芸クラブを実施し、障害者スポーツ大会にも参加いたしました。

事業計画 (2) 経営の安定化を図り、黒字体質への変換を行います。

ア 利用契約者 27 名、稼働率 110%以上を達成し、施設会計の黒字にします。

イ 年間売上¥24,000,000 を達成し、利用者様の工賃向上に努め、就労会計の黒字を目指します。各作業部門の売上と目標工賃は以下のとおりです。

(ア) 印刷部門 ¥1,300,000/月 × 12カ月 = ¥15,600,000/年

法人内就労事業所との連携を強化し、営業力の向上を図り、新規顧客の獲得に努めます。【目標】月2件、年間25件、売上+¥600,000/年

(イ) 精米部門 ¥520,000/月 × 12カ月 = ¥6,240,000/年

利益率を管理し、将来的な運営も検討します。

(ウ) 軽作業部門 ¥180,000/月 × 12カ月 = ¥2,160,000/年

利用者様の強みを把握し、一つの作業だけでなく、様々な作業をこなせるように準備を行い、増収増益に努めます。

(エ) 工賃目標 ¥24,900 (R2年度実績 ¥23,615)

ウ プロジェクトチームを立ち上げ、新規作業部門の検討を行います。

ア 利用契約者は平均 27.9 名、稼働率 109.1%の実績でした。7 月と 8 月にそれぞれ 1 名ずつ契約できましたが、6 月、9 月、2 月に計 4 名の退所者がおり、目標稼働率 110%をわずかに下回る結果となりました。退所理由は施設入所が 2 名、自己都合とレベルの低下が各 1 名となっています。

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
令和 4 年度	契約者数	28	28	28	28	29	29	28	28	28	28	27	26	27.9
	開所日数	21	20	22	21	21	21	21	21	21	21	20	22	252
	延べ人数	466	416	439	453	468	465	463	479	452	459	457	482	5499
	1 日平均	22.2	20.8	20.0	21.6	22.3	22.1	22.0	22.8	21.5	21.9	22.9	21.9	21.8
	稼働率	111.0	104.0	99.8	107.9	111.4	110.7	110.2	114.1	107.6	109.3	114.3	109.6	109.1
令和 3 年度	契約者数	27	27	27	27	27	27	28	28	28	28	28	28	27.5
	1 日平均	24.2	23.3	23.7	22.5	22.3	21.8	22.5	23.2	23.0	22.5	22.0	22.0	253
	稼働率	120.8	116.4	118.4	112.7	111.5	108.8	112.3	116.2	115.2	112.3	110.3	109.8	113.7

- イ 作業部門は、印刷・精米・軽作業部門とも前年度並みかそれ以上の売上を達成できました。
- (ア) 印刷部門は材料費の高騰などありましたが、都度価格交渉を行い、当初予算達成はできませんでしたが、対前年度は+11%となりました。
- (イ) 精米部門は、販売、仕入価格を調整し、予算、前年度とも売上はクリアできました。
- (ウ) 軽作業部門は、作業単価の見直しや安定供給のできない作業を整理し、また新規依頼の単発作業等も積極的に受け入れ、昨年度並みの実績と対予算+4.5%アップとなりました。
- (エ) 平均工賃は目標にしていた¥24,900 には大きく届きませんでした。¥20,325 で最低目標であった¥20,000 を超えることはできました。週 3 日利用と高齢の利用者様の増加が要因と考えています。

作業名		令和 3 年度	令和 4 年度	予算 (目標)
(ア)	印刷部門	¥13,595,664	¥15,199,872	¥16,000,000
(イ)	精米部門	¥6,482,723	¥6,826,862	¥6,000,000
(ウ)	軽作業部門	¥2,170,958	¥2,136,485	¥2,040,000
内訳	南国ミロク	¥816,823	¥977,306	¥840,000
	やまくに	¥358,758	¥304,077	¥400,000
	ミニパック	¥173,731	¥114,240	¥180,000
	大三	—	¥113,736	¥60,000
	浜幸	¥217,345	¥221,767	¥200,000
	高生連	¥87,057	¥79,492	¥100,000
	その他	¥517,244	¥325,867	¥220,000
その他		¥26,500	¥28,200	¥40,000
合計金額		¥22,275,845	¥24,191,419	¥24,040,000
(エ)	平均工賃	¥19,746	¥20,325	¥24,900

ウ プロジェクトチームによる新規事業の立ち上げにつきましては、高知県生産活動支援事業費補助金を活用し、様々な材質の物に印刷できる UV プリンタを導入し、現在の印刷ユーザーやそれ以外の顧客にもアプローチし、売上の向上を図ります。

納入日	購入商品	購入先	金額
令和5年2月20日	ミマキ社製UVプリンタ UVJ3042MK II e	関株式会社	¥3,804,350 (内 ¥2,000,000 補助金)

3 その他の事業報告

(1) 年間行事

行事名	実施時期	実施内容
釣りクラブ	5/14	利用者様3名職員2名で奈半利町加領郷港にて釣行。
障害者スポーツ大会	5/29	利用者様2名職員1名にて、ポッチャ競技に参加。
バーベキュー大会	7/23	春の外出を変更し開催。800g/人のステーキを堪能。
秋の法要	9/21	国分寺住職による秋の法要。
秋の外出	11/2	早明浦ダム内部を見学、ひばり食堂にてランチ。
忘年会	12/26	毎年恒例の忘年会を実施、カラオケやゲームを楽しむ。
園芸クラブ	3/9	鉢やプランターに春の花を植栽。
春の法要	3/20	国分寺住職による春の法要。
花見	3/29	南国市歴史民俗資料館にてお花見。
メダカの飼育	年中	6月より飼育開始。観賞して楽しむ。

(2) 日常生活上の支援

項目	日時	支援内容
体重血圧測定	毎月1回	毎月工賃支給日に実施し、通院時に情報提供。
訪問販売	毎週水曜日	サンプラザハッピーライナー号が昼休みに来所、自身で好きなものを購入。
食事委員会	5/23・3/28	管理栄養士と給食についての意見交換。

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

訓練内容	実施時期	内容
火災避難訓練	6/1・3/29	消防への通報訓練及び避難訓練 利用者18名 職員4名参加 利用者19名 職員6名参加
風水害避難訓練	7/28	コーポ2階への垂直避難訓練 利用者21名 職員5名参加
地震避難訓練	7/29・2/8	図上・避難訓練、発電機操作確認 利用者20名 職員6名参加 利用者22名 職員6名参加
地震避難訓練	2/25	避難訓練及び職員連絡確認 利用者18名 職員5名参加

(4) スタッフの外部研修参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
高知県 災害時の心のケア活動オンライン研修	5/25	高知県	サビ管 生活支援員
「福祉QC」入門講座	6/27	日本福祉施設士会	サビ管 生活支援員

工賃向上説明会	7/7	高知県	所長
サービス管理責任者更新研修	8/18	高知県	サビ管
福祉業界のための SNS 活用セミナー	8/26	高知県社会福祉協議会	生活支援員(相談)
中国・四国ブロックセミナー 福祉 QC 発表広島大会	10/6～ 10/7	中国・四国福祉施設士会	所長
近畿ブロックセミナー奈良大会【オンライン】	10/18	日本福祉施設士会	所長
中堅職員ファーストステップ研修	10/27	福祉研修センター	生活支援員(相談)
虐待防止委員研修会【オンライン】	11/30	高知県	サビ管
高知県工賃向上推進セミナー	12/6	高知県	所長
中国四国社会就労センター協議会 施設長研修会	1/25～ 1/26	中国四国社会就労センター協議会	所長
精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修	3/13	高知県精神保健福祉士協会	生活支援員(相談)
印刷技術向上のための研修 (日進舎印刷様での実地研修)	3/15～ 3/17	ウィール社から依頼	職業指導員(印刷)
中国四国社会就労センター協議会 職員研修会	～3/24	中国四国社会就労センター協議会	サビ管、生活支援員、職業指導員3名
全国社会就労センター長研修会 【オンデマンド配信】	2/20～ 3/31	全国社会就労センター協議会	所長
施設長実学講座 (第1回)労務管理	7/22	日本福祉施設士会	サビ管
【オンライン】(第2回)会計実務	8/24		所長
(第3回)危機管理	10/26		所長
(第4回)SDGs	12/16		所長
(第5回)法務事例	1/30		所長

(5) スタッフの配置状況

職種	常勤換算	職員数
所長 (管理者)	0.7	1名 (兼)
サービス管理責任者	1	1名
生活支援員 (相談)	0.5	0.5名 (兼)
職業指導員	3.7	4.5名 (兼)
送迎運転手	0.8	2名
計	6.6	9名

(6) 施設への苦情等件数

受付先	件数
苦情等の申し出窓口	0
施設運営委員会	0

(7) 施設内の全照明をLEDに取替

施工日	施工業者	経費
令和4年12月10日	四国電気保安協会	¥1,177,000

電気使用量は対前年同月比を下回りました。

就労継続支援B型ワークセンターファースト 事業報告

1 事業の総括

コロナ禍における令和4年度は、コロナの影響を大きく受けることもなく、土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を遵守し、利用者様一人ひとりのニーズや想いをくみ取り、嶺北地区において安心安全に生活できるよう就労支援と日常生活支援を実践しました。就労会計は黒字でしたが、当期資金収支差額合計は▲¥117,830 となりました。

2 事業報告

事業計画(1) 日中の活動を充実させ、利用者様のニーズや想いに沿った支援の実践を行います。

- ア 個別支援計画を基に、会是に沿った支援を実践します。
- イ 安定した作業提供を行い、工賃の向上を図る。
- ウ 作業以外の活動の充実を図る。
 - (ア) いきいき元気体操等へ参加し、健康的な生活を送る。
 - (イ) イベント等へ積極的に参加します。
 - (ウ) 調理実習等、日常生活で役立つ実習を実施していきます。
 - (エ) 防災対策を徹底します。

- ア 全職員が個別支援計画の策定に関わり、利用者様のニーズや想いに寄り添った支援を実践しました。
- イ 作業量の確保が進み、安定した収益が出ましたので夏期・冬期・期末手当の支給をしました。
- ウ 大豊町主催のいきいき元気体操への参加や、利用者様の誕生日に昼食やおやつを職員と一緒に作って楽しむなど、作業活動以外の時間も趣向を凝らし楽しみました。防災避難訓練は下記の内容にて実施しました。

訓練内容	実施時期	概要
風水害避難訓練	6/30	農工センター2階への垂直避難訓練 利用者9名、職員3名参加
地震避難訓練	9/27	防災頭巾を装着し、屋外への避難訓練 利用者8名、職員3名参加
火災避難訓練	11/30	火災を想定し、屋外への避難行動を実施 利用者11名、職員3名参加
地震・風水害避難訓練	1/31	地震後の水害を想定した避難訓練 利用者9名、職員3名参加
火災避難訓練	3/30	火災を想定し、屋外への避難行動を実施 利用者9名、職員3名参加

事業計画(2) 安定収益を確保し、経営の安定化を図ります。

ア 利用契約者数 12 名、稼働率 90%以上を達成し、施設会計の黒字化に向けた運営を行います。

イ 毎月¥200,000 以上の売上を達成できるように売上管理を徹底し、就労支援事業の収益の増加と利用者様の工賃向上を実践し、就労会計の黒字化を実現いたします。各作業部門の売上と目標工賃は以下のとおりです。

(ア) 軽作業部門 ¥140,000/月 × 12 カ月 = ¥1,680,000/年

(イ) 印刷部門 ¥47,000/月 × 12 カ月 = ¥564,000/年

(ウ) その他 ¥9,000/月 × 12 カ月 = ¥96,000/年

(エ) 目標工賃月額 ¥13,800 (R2 年度実績 ¥13,144)

ウ 地元の企業との連携し、地域に密着した作業及び活動を行います。

ア 利用契約者は、7月、11月、12月に各1名の計3名を確保でき、一時は過去最高の13名となりましたが、退所者が7月、1月に2名が自己都合にて退所され、年間稼働率は84.5%で、昨年度より▲6.9%となり、障害福祉事業収入は、対前年度比▲¥878,059となりました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和4年度	契約者数	11	11	11	11	11	11	11	12	13	12	12	12	11.5
	開所日数	21	20	22	21	21	21	21	21	21	21	20	22	252
	延べ人数	177	154	184	159	161	174	176	175	198	194	185	195	2130
	1日平均	8.4	15.4	8.4	7.6	7.7	8.3	8.4	8.3	9.4	9.2	9.3	8.9	8.5
	稼働率	84.3	77.0	83.6	75.7	76.7	82.9	83.8	83.3	94.3	92.3	92.5	88.66	84.5
令和3年度	契約者数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12.0
	1日平均	9.4	9.7	9.3	9.3	8.7	9.8	9.4	9.32	9.9	9.0	7.9	8.5	9.1
	稼働率	94.0	96.7	92.7	92.7	87.0	92.9	93.6	93.3	99.1	89.6	79.5	85.5	91.4

イ 作業部門は、毎月20万円以上の売上を目標に全職員が意識をもって活動しました。清掃作業やシルクスクリーン等の施設外での作業も増え、利用者様の対応力も向上しています。R4年度も期末手当の支給もでき、目標工賃の¥13,800には届きませんでした。前年度より¥675のアップとなっています。

ウ とさちよう物語様や大豊町様と連携し、大豊町オリジナルポロシャツやキーホルダーの製作・販売、道の駅等の清掃作業を行い、就労会計の増収につながりました。

作業名		令和3年度	令和4年度	予算(目標)
ア 印刷部門		¥706,930	¥562,125	¥564,000
イ 軽作業部門		¥1,753,910	¥2,139,732	¥1,920,000
内訳	碁石茶協同組合	¥288,832	¥215,070	¥240,000
	ゆとりファーム	¥116,370	¥213,940	¥120,000
	ミニパック	¥166,564	¥169,333	¥150,000
	南国ミロク	¥6,919	¥8,503	¥6,000
	とさちよう物語	¥148,803	¥472,480	¥120,000
	道の駅等清掃	¥240,000	¥660,000	¥660,000
	その他	¥786,422	¥400,406	¥624,000
その他		¥75,780	¥69,690	¥60,000
合計金額		¥2,536,620	¥2,771,547	¥2,544,000
平均工賃		¥12,087	¥12,762	¥13,800

3 その他事業報告

(1) 年間行事

行事名	実施時期	実施内容
誕生日会	5/28、6/21、7/20 8/22、10/12、 12/19、2/15、3/27	利用者様の誕生日にお菓子や食事を利用者様と一緒に作り、食事会や茶話会を開催。
いきいき元気運動教室	7/13、9/14、10/12 12/14、2/8、3/8	大豊町地域包括支援センター主催の高齢者向けトレーニングやストレッチ等に参加。
クリーンアップおおとよ	7/8、12/19	雨天中止 大杉駅周辺を大豊学園生徒会と一緒に清掃作業実施（利用者4名職員1名参加）
高知県たばこ販売協同組合 清掃活動	10/14、11/18	本山町嶺北中央病院駐車場を清掃 （利用者4名職員1名参加） 土佐町ショッピングセンター駐車場の清掃 （利用者3名職員1名参加）
春の外出	6/15、6/22	土佐町へあじさい見物にドライブ 土佐市蓮池公園（土佐市）へドライブ外出。
秋の外出	10/21	四国水族館（香川県宇多津市）へ外出。 イルカショー等を楽しむ。
クリスマス忘年会	12/23	日頃の労を労い、忘年会を開催。
花見	3/27	土佐町中島公園へお花見。

公益的な取り組みとして、『クリーンアップおおとよ（大豊学園生徒会執行部主催）』、『高知県たばこ販売協同組合の清掃活動』に利用者様と職員が参加しました。

(2) 生活上の支援

支援内容	実施時期	内容
体重血圧測定	毎月1回	工賃支給日に測定
パンの販売	週1回	どんぐりの訪問販売
昼食や日用品の購入	都度	近隣の商店への同行
選挙期日前投票	7/1 2/17	参議院議員選挙期日前投票に利用者3名引率 町議選期日前投票に利用者4名を引率

(3) 施設への苦情等件数

受付先	件数
苦情等の申し出窓口	0
施設運営委員会	0

(4) スタッフの研修参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
サービス管理責任者更新研修	8/18	高知県	サビ管1名
農福連携に向けた農作業体験見学会	2/9	エフビットこうち (株)	生活支援員1名 職業指導員1名
高知県障害者虐待防止・権利擁護中堅 職員研修【オンライン研修】	2/28	高知県社会福祉協議 会	生活支援員1名

(5) スタッフの配置状況 (令和5年3月31日現在)

職種	常勤換算	常勤
所長（管理者）	0.2	1名（兼務）
サービス管理責任者	1	1名
生活支援員（相談）	0.5	0.5名（兼務）
職業指導員	1.5	1.5名
送迎運転手	0.3	1名（兼務）
計	3.5	5名

福祉ホームコーポラスこくふ 事業報告

1 事業の総括

令和4年度のコーポラスこくふは、利用者様が地域において自分らしく生活できる環境の提供を行いました。利用者様一人ひとりが地域社会の一員として自立生活を送ることができるようニーズや想いに寄り添った支援の実現とともに、安心安全の確保を目的とし、実践いたしました。

2 事業報告

事業報告 (1) 利用者様が住みやすい環境の整備に努めます。
 ア 突発的な修繕にも早急に対応する等、環境整備に努めます。
 イ 定期的に避難訓練の開催及び居室内の防災対策を徹底し、利用者様の安全の確保に努めます。
 ウ コーポでの自立生活において、ゆとりのある生活を送ることができるような環境を提供していきます。

ア 大きな修繕はなく、給湯器の交換や雨漏り、エアコンの清掃等の対応、害虫害獣駆除を行いました。

イ 防災避難訓練等実施状況

内容	実施時期	備考
火災避難訓練	6/1、3/29	消防への通報訓練及び屋外への避難訓練
風水害避難訓練	7/28	建物2階へ垂直避難実施
地震避難訓練	7/29、2/8、2/25	南海トラフ地震を想定し、3分間の待機後ヘルメットを着用しての避難訓練
火災報知器点検	6/1、12/15	濱田ポンプ来所点検実施
居室防災対策点検	12/15	各居室内の危険箇所点検・特に問題なし 2/15 管理人室転倒防止対策

ウ 年間行事等

行事名	実施時期	内容
バーベキュー大会	7/23	ウィール社と合同でバーベキューを実施。
忘年会	12/26	ウィール社の忘年会に参加。
園芸クラブ	6/4、3/8、3/19	植栽したプランターや鉢を施設周りに配置。毎日の水やり。
南国市ボランティアデー	3/18	利用者2名が物部川清掃に参加し、地元中学生と一緒に活動。

エ 日常生活上の支援

支援愛用	実施時期	実施内容
買物支援	第1,3,5金曜日 第2,4土曜日	南国市内のスーパーに毎週1回送迎、買い物支援を実施 計52回
通院対応	都度	タクシー対応や様子確認
配薬支援	毎週月曜日	お薬カレンダーへの配付
高知県アンケート	10/3	利用者様のアンケート回答を個別支援

コロナワクチン接種	10/8	支援施設こくふにて集団接種対応
利用者懇談会	3 か月毎に開催	利用者様のからの要望や困りごとの確認 実施日 (5/19、9/9、11/28、2/24)

事業報告 (2) 利用者様の確保を進め、経営の安定化に努めます。

ア 各関係機関への広報・営業活動を3カ月に1度以上実施し、利用者様の確保を進めます。【数値目標】6カ月以上の満床を確保し、稼働率95%以上の運営。

イ 服薬管理や通院等の支援を行い、疾病等の早期発見早期治療に努め、長く施設生活を送ることができるよう支援いたします。

ウ 退所予定者の処遇を確認し、計画的な運営を行います。

ア 6月に利用者様の確保ができ、以降は満床の状態ですべて運営できています。年間稼働率は98.3%でした。しかし、今後3年のうちに退所される可能性のある方が数名いるため、今後も待機者確保のため営業活動の継続を行います。

月別稼働率の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居者	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9.8人
稼働率	90	90	92.3	100	100	100	100	100	100	100	100	100	98.3%

イ 毎週月曜日にお薬カレンダーに配薬、定期通院時等の確認。

ウ コーポラスこくふの現状

男性 6名 女性 4名 (平均年齢62.8歳 最高齢72歳 最年少37歳)

障害種別 (身体 4、知的 5、精神 1)

利用者様の高齢化が進んできましたので、家族様や各関係機関と連携し、今後速やかに対応できるよう準備を進めています。

障害者支援施設ステージ桜が丘 事業報告

1 事業の総括

2022年度は高知県の指標を判断基準として、抗原検査実施等の積極的な感染対策を実施するとともに、嘱託医と連携を持ちながら、安芸保健所管内の感染状況を考慮し面会や外泊等を一部緩和することができた。

また、施設内のイベントだけでなく少人数での外出行事の再開や小規模多機能事業所「南風」と連携し高校生の受入れ、利用者獲得に向けた営業活動なども行うことができたが、十分な活動には至らず、目標稼働率も達成できなかった。

2 事業報告

事業計画(1) 福祉施設職員としての自覚と力量の獲得
施設内「接遇」教育を実施するとともに、職員の福祉理念、支援姿勢について職員一人一人がこれまでを省み、各支援における自己選択、自己決定を尊重したマニュアルを作成して実践します。

ア 施設内「接遇」教育の実施と、職員育成、主任育成について人事考課と連動し、職員の力量アップを図ります。

イ マニュアルの作成とマニュアルによる実践と評価をおこないます。

接遇教育の一環として、毎月職員会や朝礼時において、会是の浸透、支援姿勢や接遇の意識付けを行った。人事考課と育成に関しては、個別面談や指導などを通して、職員個々の支援力向上に取り組んでいる途中である。

自己決定を促す支援の実施に向けて、介護主任を中心に介護会にて支援方法の統一を図ることを目的として個別支援マニュアルを作成し、ケース会等で修正が必要であれば都度評価や見直している。

事業計画(2) 良質のサービス提供に向けた部署活動の充実

ア 各部署の役割について実態を確認します。

イ 部署活動計画書を作成し、PDCA サイクルで実践します。

ウ チームビルディングに取り組みます。

自身のスキルや能力を最大限に発揮し職員が思いを一つにして一つのゴールに向かっていける組織作り、効率的な行動や生産性向上につなげます。

各部署における役割と分担の再認識を行い、入所相談からアセスメント・決定までの期間短縮に努めた。健康管理に関しては、水分・排泄チェック表を看護と介護が提示確認し、異常の早期発見、家族や主治医への連絡を適宜行った。

2022年度は、部署活動計画を作成・評価を実施した結果、各部署の取り組み状況を可視化することで、部署間の連携体制と効率的な支援が実施できるようになってきている。引き続き、チーム支援を念頭により良い支援に取り組んでいく。

事業計画(3) 安定的な運営

ア 行政、病院、相談支援事業所を訪問、情報の共有ができ、利用者の獲得に努めます。

イ 特別支援学校等の生徒やその家族に施設見学や体験学習の受け入れについて情報提供をします。

ウ 広報活動（複合型施設：ステージ桜が丘・南風）に使用する機関紙の作成をし、関係機関に施設の様子を発信します。

2022年度は機関紙を2回発行し、11月以降、行政及び福祉事務所への訪問・営業活動を実施し、入所相談の状況や施設の空床状況など情報交換を行い、問合せ件数の増加と新規

入所者の確保につなげる事が出来たが、施設入所稼働率 89.0%、生活介護稼働率 89.4%、短期入所 82.0%で 2020 年度を終了することとなり目標稼働率を達成することができなかった。

在宅利用者や外部交流等の受入れに関しては、抗原検査を積極的に実施するなど感染対策を行い、施設へ持ち込まないように留意した。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

ア 稼働率 (単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
施設入所	88.0	89.7	88.5	89.4	86.5	90.0	88.3	88.2	91.1	89.5	87.0	91.3	89.0
生活介護	88.1	90.0	89.1	89.9	86.8	88.6	88.7	89.0	91.2	89.8	88.5	92.8	89.4
内													
入所	86.5	88.4	87.1	88.3	86.4	88.3	87.0	86.9	90.3	89.8	86.6	90.4	88.0
訳													
通所	1.5	1.6	2.0	1.6	0.3	0.4	1.7	2.1	0.9	0.0	1.9	2.3	1.4
短期入所	96.7	77.4	85.0	130.6	117.7	56.7	61.3	70.0	74.2	72.6	78.6	62.9	82.0

(2) 年間行事等

ア 施設の行事

(ア) 日中活動

種目	目標	実施内容
室内 娯楽	<ul style="list-style-type: none"> 認知能力や感受性の向上 協調性を養う 心身のリラックス 	<ul style="list-style-type: none"> オセロ・かるた・トランプ 映画鑑賞・カラオケ・楽器演奏
運動	<ul style="list-style-type: none"> 心身のリラックス 身体の動き 筋力、機能維持 	<ul style="list-style-type: none"> ボーリング・風船バレー ボッチャ・周回歩行
学習	<ul style="list-style-type: none"> 集団（社会）適応能力を高める 手指の細かい動作能力を高める 認知能力を高める 協調性を養う 思考性を養う 感受性を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> ぬり絵・計算ドリル パズル・クイズ 生花・飾り物制作
作業	<ul style="list-style-type: none"> 手・指の操作性 身体の動き 観賞、食する喜び 	<ul style="list-style-type: none"> 園芸（野菜、果物、花の栽培） 作物、畑の手入れ、収穫 調理
外出	<ul style="list-style-type: none"> 気分転換 社会参加 	<ul style="list-style-type: none"> 買物・ドライブ 花見

(イ) 年間行事

行事名	実施時期	備考
花見外出	4月	3/29・4/1・2・3 27人
スイカ割り	9月	9/17 9人
吉野家（牛丼）外注	9月	9/21 38人
安芸市納涼花火大会観覧	10月	10/31 35人

焼き芋	11月	11/16 48人(ショート1人・生活介護3人含む)
クリスマス会	12月	12/21 49人(ショート2人・生活介護1人含む)
広島風お好み焼き外注	1月	1/18 44人
節分豆まき	2月	2/1 44人

(ウ) 生活利便のサービス

	内 容	対 象
預金引出	金銭室管理者、希望者様の通帳処理を行う。	入所
移動スーパー	金曜日午前中に移動スーパーが来所、利用者様が事前注文した生活物品を購入される。	入所・通所

イ 地域住民等との交流

令和4年11月、安芸市西八幡宮秋祭りに参加し、事前準備、当日は神輿で地域を練り歩く。
令和5年3月、スマイルあきで開催される高校生マルシェに関して近隣の高校生と共同で花飾りを制作する。

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

	実施時期	合計
火災	4月・7月・10月・1月	4
地震	6月・9月・12月・3月	4
風水害	6月	1

(4) 施設への苦情等件数

受 付 先	計
意見箱への投函	0
施設運営委員会(月例会)	0

(5) スタッフの配置状況(令和4年3月31日現在)

職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)	職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)
施設長(管理者)	1	1	0	理学療法士	1	1	0
サービス管理責任者	1	1	0	管理栄養士	1	1	0
医師(嘱託医)	0.1	0	1	事務員	1	1	0
看護職員	3.1	2	2	用務員・技師	3.1	1	3
生活支援員(介護)	26.9	23	6	夜間警備員	1	0	3
生活支援員(相談)	1	1	0	合計	40.2	32	15

(6) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
施設長実学講座	10月 12月 1月	日本福祉施設士会	施設長 業務課長 サービス管 理責任者
安全運転管理者研修	5月	安全運転管理者協議会	事務員

高知県障害者虐待防止・権利擁護研修	8月・11月	福祉研修センター	生活支援員
中堅職員ファーストステップ研修	9月・10月	福祉研修センター	生活支援員
中四国ブロックセミナー・福祉QC発表	10月	福祉研修センター	施設長
中堅職員ステップアップ研修	10月・11月	福祉研修センター	生活支援員
中四国社会福祉法人経営者セミナー	11月	高知県経営協	施設長
ICT機器等導入支援セミナー	11月	高知県子ども・福祉政策部 長寿福祉課	生活支援員
チームリーダー研修	12月	福祉研修センター	生活支援員
ICT利活用研修	1月	福祉研修センター	生活支援員
高知県障害者虐待防止・権利擁護研修	2月	福祉研修センター	生活支援員
中国・四国ブロック災害支援セミナー	2月	高知県経営協	業務課長 サービス管理責任者 生活支援員

特別養護老人ホーム八流荘 事業報告

1 事業の総括

令和4年度は2度の新型コロナウイルススクラスタ発生により、約2か月間にわたり通常運営が不可能な期間があり、感染拡大防止策への対応や感染による職員不足のため年度計画の進捗が遅れた一年となりました。目標とする姿には到達できていない項目が多い状況のなか、少しずつ確実に目標に向けて進んでいますので、結果に結びつけるよう次年度も取り組んでまいります。

2 事業報告

事業計画(1) 接遇向上

- ア 会是に基づいた接遇マニュアルの活用
- イ 意識した丁寧なコミュニケーションの実践
- ウ 接遇向上の効果測定、マニュアル・活動手法の修正

ご利用者の安心な生活のため接遇の改善について計画に沿って活動を実施致しました。接遇力向上の評価のため、10項目(50点満点)の自己評価(職員全員)と客観評価(各部門代表者等8名)を4回実施しました。結果、1回目(5月)は自己評価平均29.2点、客観評価平均13点であったものが、4回目(3月)には自己評価平均33.7点、客観評価平均23.7点とそれぞれ接遇力が向上した結果となりました。しかし、実際の状況は満足できるレベルとは言い難いため、次年度も引き続き取り組む予定としています。

事業計画(2) 業務の標準化

- ア 各種マニュアル・手順書などの整備状況の確認
- イ 各種マニュアル・手順書等の整備(追記・修正・作成)
- ウ 職員への再周知・運用

施設運営に必要な各種マニュアルや手順書の見直しを図り、円滑な運営が可能となるよう取り組みを実施しましたが、新型コロナウイルススクラスタの発生により進捗が遅れました。「会是に基づく支援マニュアル」について新たに作成し全職員に周知をして運用を開始しましたが、それ以外のマニュアル・手順書については周知・運用までは至っていません。残りについては次年度に持ち越し整備を行うこととします。

事業計画(3) 業務の効率化

- ア 介護・看護の業務の検証・改善(シフト種類・シフト毎の業務分担)
- イ 記録物・チェック表等の現状把握・整理
- ウ 介護記録支援ソフトの導入

業務効率化による生産性向上を目的とし、チェック表の一部廃止や介護部門の勤務シフト変更等に取り組みました。また、今年度の大きな取り組みとして県の補助金を活用し「記録支援ソフト」(Wi-Fi整備・タブレット端末)を導入致しました。手書きと転記作業からの脱却、タブレット端末の活用によるリアルタイムでの記録作業等により、業務時間の短縮を目指しています。年度内はメーカーによる操作方法の説明や職員への周知にとどまりましたので、本格運用は次年度に持ち越しとなりました。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入所	96.8	98.2	95.2	97.3	97.4	95.0	94.1	94.9	94.6	94.7	94.0	91.3	95.3
短期入所	90.7	91.6	100.3	94.5	60.0	58.3	64.2	88.3	86.1	79.4	53.2	104.2	81.1

(2) 年間行事等

行事名	実施時期	備考
お花見	4月	敷地内で桜の見える場所でお菓子などを召し上がって頂いた。
誕生日会	4月	4月生まれのご利用者をご利用者・職員でお祝いした。
誕生日会	5月	5月生まれのご利用者をご利用者・職員でお祝いした。
おやつ作り	5月	カステラに好みのトッピングをして召し上がって頂いた。
誕生日会	6月	6月生まれのご利用者をご利用者・職員でお祝いした。
おやつ作り	6月	みつまめにお好みのトッピングをして召し上がって頂いた。
誕生日会	7月	7月生まれのご利用者をご利用者・職員でお祝いした。
スイカ割り	7月	ご利用者にスイカを割ってもらい、召し上がって頂いた。
七夕	7月	ご利用者に短冊を書いていただき、一緒に飾り付けを行った。
長寿を祝う会	9月	米寿等の節目を迎えられた方を始めとしてご利用者全員の長寿と健康を祝い、祝い膳を召し上がって頂いた。
誕生日会	10月	8～10月生まれのご利用者をご利用者・職員でお祝いした。
おやつ作り	10月	栗ぜんざいをご利用者と一緒に作り召し上がって頂いた。
誕生日会	11月	11月生まれのご利用者をご利用者・職員でお祝いした。
焼き芋	11月	利用者様に手伝ってもらいながら芋を焼き、出来上がったものを召し上がって頂いた。
誕生日会	12月	12月生まれのご利用者をご利用者・職員でお祝いした。
クリスマス会	12月	クリスマスの飾り付けを行い、クリスマスの雰囲気を感じて頂きながらクリスマスケーキを召し上がって頂いた。
年忘れ会	12月	職員の仮装や映画鑑賞やカラオケを楽しんでいただいた後、特別な年末の食事を召し上がって頂いた。
新年会	1月	お正月料理をゆっくり召し上がって頂き、お正月の気分を味わって頂いた。
誕生日会	1月	1月生まれのご利用者をご利用者・職員でお祝いした。
おやつ作り	1月	ぜんざいをご利用者と一緒に作り召し上がって頂いた。
誕生日会	3月	2～3月生まれのご利用者をご利用者・職員でお祝いした。
百寿の祝い	3月	安芸市長に来所していただき、100歳を迎えられたご利用者をお祝いした。

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

種別	実施時期	合計
避難誘導	6月・9月	2
消火	6月	1
通報	3月	1
地震	6月・9月	2
夜間避難	6月	1

(4) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
施設長実学講座	7月、8月、 10月、1月	日本福祉施設士会	施設長 業務課長
社会福祉法人・公益的な取組推進フォーラム	2月	高知県社会福祉法人 経営者協議会	施設長
東ブロック施設長会	2月	高知県老人福祉施設 協議会	施設長
介護リスクマネジメント動画セミナー	6月、8月、 10月、2月	ほけんのリック	業務課長
高知県災害派遣福祉チーム スキルアップ研修	7月	高知県災害福祉支援 ネットワーク会議	業務課長
全国福祉施設士セミナー	9月	日本福祉施設士会	業務課長
福祉QC発表広島大会	10月	日本福祉施設士会	業務課長
福祉QC全国発表大会	11月	日本福祉施設士会	業務課長
RICOH Value Presentation 2022	11月	リコージャパン	業務課長
香川県福祉施設士会定例会	12月	香川県福祉施設士会	業務課長
中国・四国ブロック災害支援セミナー	2月	高知県社会福祉協議 会	業務課長
「実効性のあるBCP」セミナー&策定ワ ークショップ	2月	高知県・高知市・東京 海上日動	業務課長
福祉職場の先輩職員研修	10月	福祉研修センター	介護員
中堅職員ファーストステップ研修	10月	福祉研修センター	介護員
中堅職員ステップアップ研修	10月	福祉研修センター	介護員
おむつフィッター3級	12月	むつき庵	介護員
感染管理担当者研修	5月～6月	高知県看護協会	看護師
認知症介護実践研修「実践者研修」	6月～8月	高知県	生活相談員
高知県小規模多機能型サービス等計画 作成担当者研修	9月～3月	高知県	生活相談員
KQN 現場力強化セミナー	8月～2月	高知県経営品質協議 会	介護支援専門員
東ブロック栄養士勉強会	9月	高知県老人福祉施設 協議会	栄養士
安全運転管理者講習会	6月	高知県公安委員会	事務主任

ホームヘルプステーションやながれ 事業報告

1 事業の総括

事業所としては新型コロナに関する影響は少なかったものの、居宅介護支援事業所を含む関係機関等の地域における感染拡大による活動制限や、訪問介護員の予期せぬ退職により計画の進捗が遅れた一年となりました。その中で活発とまではいかないものの、情報共有の在り方や利用者様の豊かな生活への取組みを実施し一定の成果を上げることが出来ました。

2 事業報告

事業計画(1) 利用者の共通理解

- ア サービス計画書の評価と見直しを行い、状況に即した計画書の作成をする。
- イ 訪問実施報告の充実により、それぞれの利用者のニーズを抽出する。
- ウ 関係者の連携により切れ目のない支援を行う。

訪問介護員同士が顔を合わす機会がほとんどない中で、統一したケアの提供を目的とし情報共有の在り方について取り組みました。訪問実施報告書の内容の精査や事例検討にてご利用者への理解を深めることで変化や新たなニーズ等を掘り起こし、担当居宅への報告や事業所内での手順書の変更を速やかに実施しました。また、訪問介護員同士のリアルタイムでの情報共有を目的として、スマホのグループラインを作成しました。訪問介護員の「知らなかった。」「聞いていない。」といった情報の漏れが格段に減少し、ご利用者へ不利益のない活動へと結びつきました。

事業計画(2) 地域資源の活用

- ア 介護保険外サービスの意義の理解をする。
- イ 介護保険外サービスの提供により、その人らしい生活を支援する。

介護保険制度における訪問介護には様々な制約があり、ご利用者のニーズに対応しきれない状況があります。その人らしい生活を支援するために事業所内での学習会を実施し、介護保険対象サービスと保険外サービスの理解を深めました。そのうえで、ご利用者側と担当居宅と話し合いをしながら保険外サービスの提案を実施しました。介護保険での訪問を優先する必要性和職員配置の都合により限られた件数の実施となりましたが、介護保険ではみとめられていない「嗜好品の買い物」や「庭の手入れ」等により、その人らしい豊かな生活の実現に関わらせていただきました。

3 月別活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実人数	30	33	36	35	35	35	36	37	38	38	38	39	35.8
訪問件数	270	294	306	291	313	295	311	333	322	311	303	324	306.1

在宅介護支援センターやながれ 事業報告

1 事業の総括

2023年度はコロナ感染予防対策のため、各サービス事業所の休業による代替えサービスの調整、特に独居利用者の発熱や自宅療養の支援等については保健所、行政機関、サービス事業所との調整に多くの時間を費やしました。感染状況が落ち着きを取り戻して来た2月、年度末を待たず、介護支援専門員が交代となりました。業務のスムーズな引継ぎに努め利用者支援に支障をきたすことなく、交代ができましたが、平常とは違った業務に追われた一年となりました。事業目標である「事業所を知っていただく」取り組みについては、コロナ感染対策をしながらも事業所周知に努めるべきところでしたが、十分に活動することができず成果を出すことができませんでした。

2 事業報告

事業計画(1) 事業所の周知
エ 八流荘、短期入所、ホームヘルプステーションやながれとパンフレット合同作成の提案、実施
オ 利用者への配布と紹介依頼をする
カ 担当利用者の知人や近所の方、協力者に会って知っていただく。
キ 地域の世話役に事業所の活動を説明し知っていただく。

パンフレットを作成し、地域の民生委員、公民館に配布しましたが、それにとどまり、具体的な広報活動はできなかった。

事業計画(2) 地域住民との顔の見える関係性づくり
ア いきいき百歳体操への参加、地域への会合への参加
イ 地域の集団に協力できることを探し活動に参加する。
ウ 地域の世話役などから地域の課題を聴き取る。

年2回の安芸市地域懇談会、(赤野地区)に参加して地域の課題抽出、解決に向けて社協、地域住民の方々との話し合いを行ったが、具体的な活動の話までには至らなかった。

事業計画(3) 利用者や関係機関との信頼関係の構築。
ア 訪問時には利用者の意向を確認し、寄り添った支援で信頼を得る。
イ 利用者の急な相談ごとも丁寧に応じる。
ウ 関係機関とのこまめな情報交換をすることで顔の見える関係性づくりを行う。

常に利用者の生活を中心に考え意向を傾聴した。心配事や困りごとでできる限り早く対応をした。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

ア 稼働率 (単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
給付管理者数	32	33	33	31	31	29	27	26	27	26	24	23	341
稼働率	82	84.6	84.6	79.5	79.5	74.3	69.2	66.7	69.2	66.7	61.5	59	72.9

小規模多機能型居宅介護事業所南風 事業報告

1 事業の総括

令和4年度前期は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ステージ桜が丘や地域との交流活動が一部出来なくなった状況でした。感染症が落ち着いていた時期に感染症対策を取りながら交流活動を行う事が出来ました。また、市民館へ出向き地域での課題に相談できるように話合を行いました。接遇の向上に努める事では、接遇研修や不適切ケアへの取組み、虐待防止や権利擁護等知識を得る機会ができたと思われます。令和5年度も引き続き繰り返し学ぶ事によって、職員に周知出来る様に取り組んでいきたいと思ひます。

2 事業報告

事業計画(1) 地域との関りを持続する

- ア 職員が地域の公民館活動(津久茂町)や地域行事(学校や清掃活動等)参加による交流の継続をする。
- イ 職員が津久茂町以外の民生委員地区会に出席し、顔つなぎと情報交換をする。
- ウ 利用者が地域資源(介護保険外サービス等)を活用して外出できるように支援の継続をする。

- ア コロナ感染症が落ちついた時期に、地域行事活動に参加し交流を行った。
- イ 民生委員地区会には出席出来なかったが、市民館に出向いて顔合わせや交流を行った。
- ウ 散髪や通院の生活支援の中で資源活用が出来た。

事業計画(2) 接遇の向上に努める

- ア 月/1回の虐待防止・身体拘束廃止委員会への出席を促し権利擁護について意識を深めてもらふ。(基本全職員が対象とする)
- イ 現場で風通しの良い環境整備を進める。
- ウ 口頭やチェックシートを用いて、職員理解度の確認を行う。
- エ マニュアルを用いて会是に基づく支援の説明をする。
- オ 家族会にて人権教室や南風に対しての評価意見等聞くように実施する。
(家族会2回/年開催する)

- ア 月1回の虐待防止・身体拘束廃止委員会を開催して、以前よりは権利擁護等の意識を深める事が出来たと思われる。
- イ 利用者の意見を聞くしゃべろう会(毎月/1回開催)にて希望のやりたい事等直接聞くことでそれに対する支援が出来ていた。職員に対しては、こちらから積極的に声掛けして、言いやすい環境整備に努めた。
- ウ 虐待防止・身体拘束廃止委員会や、不適切ケアアンケート実施により職員の理解を深める事が出来た。
- エ 職員会にて会是に基づいた支援の内部研修を行った。
- オ 家族会は、10月と3月に開催し家族の意見等聞く事が出来た。

事業計画(3) ステージ桜が丘との交流が出来るように調整する

- ア 毎月のステージ桜が丘との調整会にて行事予定の確認をする。
- イ 利用者同士の交流支援と合同行事(花火大会・見学・縁日・クリスマス会等)の企画をする。

- ア 調整会にて南風とステージ桜が丘の予定の確認が出来た。
- イ 縁日やクリスマス、節分等、ステージ桜が丘利用者様との交流が出来た。

障害者支援施設とさ 事業報告

1 事業の総括

関係法令を遵守し、法人の会是を基本理念として、利用者様の人権の尊重と自己決定・自己選択及び自立に向けた支援に努め、利用者様が安心・安全な生活ができる支援を行いました。また、ノーリフト委員会を立ち上げ、ノーリフトの推進を図りました。地域貢献活動については、コロナウィルス感染症の流行のため、積極的な地域との交流は出来ませんでした。

2 事業報告

事業計画(1) 会是「愛情」に基づく接遇技術の向上

- ア 作成した接遇マニュアルの実践
- イ 部署活動の充実
- ウ 研修効果の向上

数値目標を「日々会是を意識した支援実施の自己評価 80%以上」として、接遇チェックシートで4回のチェックを行い2月に自己評価を行いました。結果は98%となり、目標を達成することが出来ました。また、法人全体で取り組んでいる155項目の不適切支援アンケートを10月から実施し、全職員に「利用者様を大事にする想い」を周知徹底し、3月には不適切支援項目「あり」は11項目まで減らす事が出来ました。来年度も継続して接遇力の向上に努めます。

事業計画(2) 業務負担軽減

- ア コールシステム改修等の実施による介護機器の充実
- イ ノーリフト委員によるノーリフトの推進
- ウ ICTによる携帯端末を活用した記録システムや一斉送信による非常招集システムの構築

コールシステム改修については世界的な半導体不足により実施出来なかった。ノーリフト委員会を立ち上げノーリフティングケアについての取組みを全職員に周知し、ノーリフトの推進に努めました。wifi環境の増設や居室に天井走行リフトを設置し業務負担軽減を図りました。数値目標を「ストレスチェックが全国平均より良くなる事」としており、目標達成する事が出来ました。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

ア 稼働率 (単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
施設入所	98.0	97.4	96.6	95.2	98.1	96.5	96.3	98.0	97.7	95.1	95.4	87.8	96.0
生活介護	95.5	95.3	95.0	93.6	96.8	95.3	95.9	95.5	95.0	80.9	91.0	85.8	92.9
内 入所	97.1	96.4	95.3	94.7	98.1	96.5	95.9	96.8	96.8	95.1	93.0	85.3	95.1
訳 通所	87.3	89.6	93.6	88.3	90.4	89.1	95.7	88.6	86.1	10.0	81.0	88.3	82.2
短期入所	60.8	50.8	60.0	62.1	58.1	87.5	87.9	74.2	64.5	1.6	19.6	70.2	58.3

(2) 年間行事等

ア 施設の行事

(ア) 日中活動

種 目	目 標	実 施 内 容
室内 娯楽	<ul style="list-style-type: none"> ・認知能力や感受性の向上 ・協調性を養う ・心身のリラックス 	<ul style="list-style-type: none"> ・オセロ・卓球バレー・風船バレー ・かるた・トランプ・ボッチャ・玉入れ ・DVD鑑賞・もぐらたたき・輪投げ ・脳トレボードゲーム・パットゴルフ ・ボーリング・ビーンバッグ ・スカットボール・ラダーボール
作業 療法	<ul style="list-style-type: none"> ・手指の細かい動作能力を高める ・心身の耐久性を高める ・協調性、思考性、感受性を養う ・意思・意欲の向上 ・認知能力を高める ・自立生活能力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理材料買物 ・調理(カルピスババロア、ティラミス風アイス、お好み焼き、チョコブラウニー、フレンチトースト) ・七夕飾り付け・クリスマス飾り ・正月飾り・ひな飾り・個人創作 ・スピリットアート出展(シールアート)・マステアート
学習系	<ul style="list-style-type: none"> ・集団(社会)適応能力を高める ・手指の細かい動作能力を高める ・認知能力を高める ・協調性を養う ・思考性を養う ・感受性を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・暑中見舞い・年賀状・回想法 ・書道・ぬり絵・カード合わせ ・新聞作り・折り紙・間違い探し ・なぞり書き・かるた・音読 ・個別学習・声の広報・地域学習 ・質問カード・書初め・英語
音楽 療法系	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンシップやリラックス ・仲間作りや雰囲気づくり ・発声訓練や身体の体操 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム音楽・カラオケ・音楽鑑賞
園芸 療法系	<ul style="list-style-type: none"> ・手・指の操作性 ・身体の動き ・観賞、食する喜び 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物(大根、人参、シイタケ) ・栽培(アサガオ、チューリップ、スイセン) ・作物や畑の手入れ・新聞作り ・押し花・収穫物の調理・コケ盆栽
外出	<ul style="list-style-type: none"> ・気分転換 ・社会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブ・花見
生産 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加 ・協調性や自活能力を高める ・意思や意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りパン販売
機関紙	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ、紙面づくり、送付準備
美活	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔保持・心身のリラックス ・意思・意欲の向上・気分転換 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケア・ハンドケア・ネイルケア ・ヘアメイク・オーラルケア
美食	<ul style="list-style-type: none"> ・気分転換、意思や意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い・スイーツ等取り寄せ ・会食

(イ) 年間行事

行事名	実施時期	実施場所（※備考）
中庭昼食	5/11（水）	とさ中庭
ふれあい交流会	5/14（土）	とさホール ※入所のみ
お楽しみ会（アイス）	7/13（水）	ふれあいホール
お楽しみ会（かき氷）	8/10（水）	ふれあいホール
彼岸の法要	9/22（木）	楓の間 ※職員のみ
秋風祭（いもアイス）	10/12（水）	とさ中庭
クリスマス・忘年会	12/14（水）	とさホール
節分豆まき	2/3（金）	とさホール
彼岸の法要	3/17（金）	楓の間

(ウ) 生活利便のサービス

	内 容	対 象
預金引出	火曜日に行員が来所、希望者様の通帳処理を行いました。	入所
買物	水曜日に希望日用品を代行して購入しました。	入所
パンの販売	月2回程度、業者が来所してパンを販売しました。	入所・通所
移動スーパー	水曜日に移動スーパーが来所、利用者様が選択して生活物品を購入されました。	入所・通所

イ 地域住民等との交流

例年は、波介小学校との交流会や入学式・運動会・卒業式への参加、高石小学校との交流会、土佐市から始まる MusicStep さん主催のコンサート等に参加していましたが、コロナ禍のため、すべて参加中止となりました。

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
避難誘導			6/22					11/22					2回
消火			6/22					11/22					2回
通報	4/28		6/22		8/1		10/3	11/22	12/1		2/28		7回
地震	4/28		6/22		8/1	9/1	10/3	11/22	12/1		2/28		8回
凶上			6/22					11/22					2回
夜間避難			6/22								2/28		2回
救急法													0回
水害対応		5/18											1回
不審者対応													0回

※コロナ禍のため、三密に該当する救急法と不審者対応の訓練は中止。

(4) 施設への苦情等件数

受付先	施設内の問題	その他の問題	計
とさの苦情等の申出窓口	0	0	0
とさ地区施設運営委員会	0	0	0

(5) スタッフの配置状況（令和5年3月31日現在）

職 種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)	職 種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)
施設長（管理者）	0.7	1	0	理学療法士	1	1	0
サービス管理責任者	2	2	0	管理栄養士	1	1	0
医師（嘱託医）	0.02	0	1	事務員	3	2	0
看護職員	3	3	0	用務員	0.2	0	1
生活支援員（介護）	32.7	27	8	夜間警備員	1	1	0
生活支援員（相談）	1	1	0	合計	45.62	40	9

(6) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
土佐市地域医療カンファレンス 介護推進の多職種研修会	7/4・8/26	高知市医師会	施設長
施設長実学講座	7/22 8/24 10/26 12/16 1/30	日本福祉施設士会	施設長 施設長補 相談
施設における衛生管理	6/28	福祉研修センター	管理栄養士
新任職員研修ステップ1	7/1	福祉研修センター	生活支援員
災害派遣福祉チームスキルアップ研修	7/6	高知市	相談
新任職員研修フォローアップ研修	7/28	福祉研修センター	生活支援員
中堅ステップアップ研修	8/3	福祉研修センター	相談
安全運転管理者研修	8/4	高知県公安委員会	施設長補
虐待防止・権利擁護研修（管理者）	8/30	福祉研修センター	施設長
公正採用選考人権啓発推進研修	9/26	高知市	施設長補
福祉施設士セミナー全国大会	9/29	日本福祉施設士会	施設長
臨床における糖尿病の食事療法	9/29	日本栄養士会	管理栄養士
福祉施設士QC中国・四国大会	10/6～7	日本福祉施設士会	施設長
福祉施設士セミナー近畿大会	10/18	日本福祉施設士会	施設長
先輩職員研修	10/20	福祉研修センター	生活支援員
中堅職員ステップアップ研修	11/15	福祉研修センター	生活支援員
虐待防止・権利擁護研修（リーダー）	11/30	福祉研修センター	主任、生活支援員
チームリーダー研修	12/1～2	福祉研修センター	生活支援員
給食施設関係者研修会	12/14	いの町	管理栄養士
新任職員研修ステップ2	2/17	福祉研修センター	生活支援員
福祉用具管理・導入リーダー研修	2/17	福祉研修センター	生活支援主任
障害者虐待防止マネジャー研修	2/24	福祉研修センター	施設長、施設長補
虐待防止・権利擁護研修（中堅）	2/28	福祉研修センター	生活支援員
新任職員研修ステップ3	3/9	福祉研修センター	生活支援員

就労継続支援B型事業所カトレア 事業報告

1 事業の総括

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者様が地域社会の一員として自立生活を送るための生活面の支援と、就労に必要な知識および技能を高める就労支援をしました。会是の「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守し、『個性と可能性を活かすことが成長への第一歩』をスローガンとし、土佐厚生会の経営理念を念頭に置き、事業計画を達成出来るよう職員間で共有を図り、全職員が一丸となって成果を出せるように努めました。

2 事業報告

事業計画(1) 利用者様の生活面・就労面の自立に向けた支援の向上

- ア サビ管は個別支援計画を充実させる力量の向上
- イ 個別支援計画に沿った実践を行い、効果を上げる実践力の向上 (PDCA の管理)
- ウ 各部署のマニュアルの充実

利用者様の自立に向けた個別支援計画作成の為、一人一人の利用者様実態表を更新し、利用者様一人一人が今よりも出来る事をひとつでも増やし、豊かな生活が送れるよう努めました。生活面の個別支援計画課題達成は71%、就労面の個別支援計画課題達成は56%でした。

事業計画(3) 就労会計の黒字化の継続が出来るように各作業部門が収益率を向上し、利用者様の平均工賃は21,000円を目指します。

- ア 乾燥工場
乾燥野菜チップの売上や農福連携に取組み、売上目標12,680,000円を目指します。
- イ 食品加工
HACCP商品の販売先を増やす為、高知県産品会に参加し、農福連携にも取組み軽作業の種目の充実を図り、売上目標4,200,000円を目指します。
- ウ 喫茶
一日平均売上定食数20食以上を継続し、売上目標2,700,000円を目指します。
- エ 清掃・空調
障害者支援施設とさの清掃業務と空調清掃や剪定作業を請負、売上目標1,520,000円を目指します。

ア 乾燥工場

乾燥生姜チップの売上は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、(株)サニーフーズが卸していた飲料メーカーからの発注がなくなったとの事で、今期の発注はなくなり、新規取引先からの注文分のみの売上となりました。乾燥工場の年間売上額は、4,048,425円と目標額を達成する事は出来ませんでした。農福連携の活性化に積極的に取組み、工場設備の機能を活かした野菜の乾燥請負や洗浄請負を増やす事は出来ました。

イ 食品加工部

食品加工部の年間売上額は、5,255,246円と目標額を達成する事が出来ました。高知県産品会に参加し取引先を増やす事に努めました。売上額向上を目指し、高知県工賃向上アドバイザー事業を活用し、カトレアパンフレットや商品パンフレットを作成していただく事も出来ました。又、事業所価値の向上やビジネスチャンスの拡大を図る為、こうちSDGs推進企業登録制度に登録し、7/19に登録証を授与する事が出来ました。作業面では、農福連携の活性に取り組み、季節野菜の袋詰めを新規軽作業として獲得する事で作業種目を増

やし、利用者様の作業選択の幅が広がるように努めました。地域貢献として、土佐市の農家婦人部（土佐旬物クラブ）の、ネギ塩タレ製造の為、ネギの乾燥や保管方法などのアドバイスを継続して行い商品販売に貢献する事が出来ました。

ウ 喫茶部門

新規弁当配達先として土佐市役所の受注を獲得する事が出来ました。年間売上額は、2,760,356円となり目標達成する事が出来ました。

エ 清掃・空調

年間計画通り作業請負を行いました。売上額は1,480,000円の計上となり、目標達成

令和4年度 乾燥工場・清掃・空調 売上集計表

	オクラチップ	ゴーヤチップ	生姜チップ	乾燥請負	エコア水	清掃	空調・剪定	洗浄請負	月合計
4月				66,000	12,000	100,000	110,000		288,000
5月				99,000	12,000	100,000	30,000		241,000
6月				45,100	12,800	100,000	0		157,900
7月				16,500	12,000	100,000	0		128,500
8月	1,069,200			0	12,100	100,000			1,181,300
9月	1,322,653	210,224		44,000	12,400	100,000	30,000		1,719,277
10月				62,700	12,000	100,000	110,000		284,700
11月				33,000	12,200	100,000		34,940	180,140
12月			359,283	110,000	12,300	100,000		68,024	649,607
1月					12,100	100,000		134,039	246,139
2月				16,500	12,100	100,000		98,706	227,306
3月					12,900	100,000		111,656	224,556
合計	2,391,853	210,224	359,283	492,800	146,900	1,200,000	280,000	447,365	5,528,425

令和4年度 食品加工部売上集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
軽作業	60,473	61,865	121,407	81,863	92,426	90,243	82,072	84,000	88,365	89,789	85,452	117,925	1,055,880
商品販売	199,122	261,044	153,176	159,896	184,030	186,650	323,825	599,919	357,820	360,648	391,272	502,866	3,680,268
加工請負	73,784	41,787	24,948	105,974	3,155	12,815	54,845	35,863	22,088	27,187	80,875	35,777	519,098
合計	333,379	364,696	299,531	347,733	279,611	289,708	460,742	719,782	468,273	477,624	557,599	656,568	5,255,246

令和4年度 喫茶売上集計表

	定食数	定食売上	弁当500円	弁当450円	定食他	アイス	月合計	お米	イベント	総合計
4月	385	211,750	9,000	7,200	1,400	6,890	236,240	800		237,040
5月	360	198,000	9,500	6,750	1,700	5,330	221,280	5,178		226,458
6月	379	208,450	6,500	11,700	300	4,550	231,500	800	15,400	247,700
7月	350	192,500	11,000	5,850	1,300	6,760	217,410	2,600		220,010
8月	319	175,450	10,500	5,850	1,600	5,980	199,380	800		200,180
9月	352	193,600	12,500	6,750	1,800	2,080	216,730	5,178		221,908
10月	357	196,350	34,500	6,300	600	5,070	242,820	800		243,620
11月	329	180,950	37,000	5,400	400	3,120	226,870	800		227,670
12月	304	167,200	39,500	4,500	300	2,600	214,100	800		214,900
1月	276	151,800	47,500	3,150	300	0	202,750	0		202,750
2月	277	152,350	54,500	5,400	950	1,950	215,150	2,400		217,550
3月	364	200,200	58,000	8,550	550	2,470	269,770	800	30,000	300,570
合計	4052	2,228,600	330,000	77,400	11,200	46,800	2,694,000	20,956	45,400	2,760,356

各作業部門が収益率の向上に取組み、就労会計の黒字化の継続が出来ました。利用者様に期末手当の支給を実施し、平均工賃は21,562円となりました。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

ア 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数	25	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	24	23
開所日数	21	20	22	20	22	21	21	21	20	19	20	23	250
出勤延べ人数	443	410	460	348	415	399	428	428	374	317	374	470	4,866
1日平均	21.1	20.5	20.9	17.4	18.9	19.0	20.4	20.4	18.7	16.7	18.7	20.4	19.46
稼働率	105.5	102.5	104.5	87.0	94.3	95.0	101.9	101.9	93.5	83.4	93.5	102.2	97.3

(2) 年間行事等

ア 施設の行事

行事名	実施時期	実施場所
カトレア祭り	10/12	カトレア
日帰り旅行	11/11	さくらサーカス
クリスマス・忘年会	12/14	カトレア
お花見	3/29	いの町・波川公園

イ 地域住民等との交流

例年は、障害者支援とさ合同の波介小学校・高石小学校との交流会や、土佐市から始まる MusicStep さん主催のコンサート等に参加しておりましたが、コロナ禍のため、すべて中止となりました。

ウ クラブ活動 毎月第3土曜日

クラブ名	内容	実施回数	実施場所
美術	スピリットアート（共同作品）製作・出展、塗り絵、はり絵、画	5回	カトレア
写真	季節の写真、会報誌（スマイル）写真撮影・選択、誕生日カード写真撮影・選択	4回	カトレア 行事実施場所等
音楽	カラオケ、音楽鑑賞、作業中のリラクゼーション音楽選曲、CD再生	4回	カトレア カトレア内作業部屋
映画	DVD鑑賞、DVD選択・DVD再生	6回	カトレア

エ 係活動

係名	人数	取組みの内容
日直	1人	朝夕のつどい司会、作業予定、曜日・天気の記入
給食	9人	献立発表、献立記入、食器片付け、台拭き、調味料の整理、お茶サーバー準備・片付け
整理・美化	10人	花の水やり、トイレ掃除当番発表、掃除の担当決め・実施、食堂ホールのイス整理
飼育	3人	魚（グッピー、メダカ）の餌やり、水槽の水替え・管理

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
避難誘導	4/8	5/10	6/10	7/8	8/10	9/9	10/7	11/10	12/9	1/10	2/10	3/10	12回
消火			6/22					11/9					2回
通報			6/22					11/9					2回
地震	4/8	5/10	6/10	7/8	8/10	9/9	10/7	11/10	12/9	1/10	2/10	3/10	12回
凶上			6/22					11/9				3/10	2回
水害対応												3/10	1回

※コロナ禍のため、三密に該当する救急法と不審者対応の訓練は中止

地震訓練を毎月工賃支給日に実施する事で、南海大震災に備えた避難について利用者様の意識付けが出来るように取組みました。

(4) 苦情解決について

カトレア等に関する苦情や相談に対して、迅速かつ適切に対応するために「とさ地区施設運営委員会」を設置して、意見箱を設け、苦情などの受付の他、毎月1回、利用者懇談会を開催し意見交換などを行いました。苦情相談の投函はありませんでした。

(5) スタッフの配置状況（令和5年3月31日現在）

職種名	所長	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	合計
職員配置数	1 (0.5)	1	1	5 (4.5)	7

(6) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
食品衛生講習会	6/28	土佐市	職業指導員
施設長実学講座	7/22	日本福祉施設士会	所長
	8/24		
	12/16		
	1/30		
高知県社会就労センター協議会総会	7/6	高知県社会就労センター協議会	所長
虐待防止・権利擁護研修（管理者）	8/30	福祉研修センター	所長
福祉サービス苦情解決セミナー	9/20	福祉研修センター	所長
福祉施設士 QC 中国・四国大会	10/6～7	日本福祉施設士会	所長
高知県サービス管理責任者基礎研修	10/11～12	高知県	生活支援員
虐待防止・権利擁護研修（リーダー）	11/30	福祉研修センター	サービス管理責任者
高知県工賃向上推進セミナー	12/6	高知市	所長
サビ管更新研修	2/22	高知県	サービス管理責任者
中国・四国社会就労センター協議会研修	3/8	中国・四国社会就労センター協議会	生活支援員